

現場見学・研修会

平成26年10月17～18日に、兵庫県西宮市塩瀬町の名塩道路八幡トンネル工事で現場見学・研修会が開催され、42名が参加しました。

2. 開講挨拶(野崎会長)

目下、トンネル業界は、東北を初め全国的に忙しくなっています。トンネル業者が少なくなっている中、今後リーニアの出件もあり増々忙しくなるので、専門業者が一体となって、お互い力を合わせてやって行きたいと思えます。本日の見学現場は、超近接のめがねトンネルということで、非常に興味深い現場です。自社の現場を見るだけでなく、他社の現場を見て、参考になる所は自社に持ち帰り水平展開して頂きたいと思えます。

3. 現場見学・研修(北新建設㈱ 倉地裕一所長より)



着工時は、工期の問題もあり、他業者が防音ハウスを組立っているすぐ隣で坑口付を行いました。トンネルが全部被るまで、7枠ぐらいの明り支保工をたてじやまのないようにほっておかない必要としました。当初、ツインヘッターで掘る予定でしたが、硬い地山で歯がちませんでした。上り線南側に中国自動車道、トンネル上部に八幡神社、下り線北側にマンションが近接しており、火薬が使えないため、3tの大型ブレイカー2台で掘削することとしました。掘削時間はワンサイクル8～9時間で行い、何とか100mに到達したところで、上り線の施工を開始しました。施工は、上り・下り線を、3パーティーの片番施工により乗り切りました。騒音に関する地元対策として、貫通時のブレイカー使用は、朝9時から夕方5時までに制限されました。また、注入式フォアポーリング等の色々な補助工法を取り入れており、安全面においても、地表面の沈下地すべり変位を見える化し作業員の意識付けを行っています。工期は来年3月迄で、今後、インバート、覆工等輻輳した作業があり、工期的に難しい面もありますが何とか工期内に仕上げたいと考えています。



1. 工事概要

工事名:名塩道路 八幡トンネル工事
発注者:国土交通省 近畿地方整備局(兵庫国道事務所)
元請:㈱鴻池組 施工:北新建設㈱
掘削工法:機械掘削 補助工法:AGF工法
低土被り:D=約22m～約7m ズリ出し:10tダンプ